

にのみや学園

二宮町立二宮中学校

学校だより No.12



汐鳴り



令和6年度3月号その2

◎すっかり定番となったはらっぱマルシェ◎

3月1日(土)青空のもと、東大果樹園跡地にて、はらっぱマルシェに1～3年生21名がガチャガチャ、手作りアクセサリーやキーホルダー等で出店し、小さな子どもたちから大人まで多くの来客で賑わいました。手作り作品の完成度の高さ、射的のおもしろさ、試行錯誤の末に完成したクレーンゲームの精巧さに皆びっくり。

中学生の企画力や発表力を活かし、地域とのつながりを深めたいとの思いで、令和4年度より学校運営協議会が呼びかけて始められたこの中学生マルシェ。目を輝かせて「もちろん高校生になっても出店します!」と毎年参加してきた3年生。このような活動を積み重ねていくことが、二宮町の活性化の源になるのでしょう。

◎大盛況、大成功のN-1 FIESTA◎



3月10日(月)午前中は全学年が参加した卒業式予行練習が行われました。当日は体育館の広さの関係で1年生は自宅待機となっており、予行のみの参加となりました。予行とはいえ、1・2年生がそろって3年生の卒業をお祝いしようという温

かい気持ちの溢れる厳粛な雰囲気醸し出されました。

そしてその日の午後。「二宮中で一番の思い出にしたい祝祭」という思いが込められた「N-1 FIESTA」が同じ体育館で賑やかに展開されました。例年10月の汐鳴祭文化の部当日の「後夜祭」が名称と日程を変えて実現したものです。ノリノリの生徒会長の挨拶から始まり、歌、ダンス、バンド、楽器の演奏、お囃子、漫才など、その多才ぶりがステージ上で発揮されました。一つひとつの出し物の間に繰り広げられる、どこから現れるのかわからない司会者のパフォーマンスも楽しめました。会場全体が熱狂に包まれて無事終了。と思いきや、1・2年生から3年生へ感謝の気持ちを込めたサプライズ合唱が披露されました。生徒会が中心となり作り上げたこの企画。全校生徒の力が結集され大成功でした。

◎そして迎えた卒業式◎



昇降口に飾られた手工芸部による3年生への「ありがとうの花束」

3月12日(水)第77回卒業式が行われました。昭和22年(1947年)開校以来の卒業生17,674名に新たに122名が加わりました。今年度は3年生と音楽科教諭が作詞作曲した合唱曲「汐騒のとき」が、2・3年生により熱唱されました。「汐鳴りを聴きながら」、放課後の部活動の終わりを告げる曲のタイトル「Sign」、そして繰り返される「ありがとう」のことは等、一つひとつの単語やフレーズに、卒業を控えた3年生のそれぞれの思いがギュッと詰まった素敵な曲です。この先何年も二宮中学校で歌い継がれていくことを願います。

◎地域のボランティアによる支援◎

学校運営協議会の3部会の一つである地域活動部会が取り組んできた地域ボランティアの方による授業支援。3月17日(月)は1年生の書道の時間でお世話になりました。課題は「自分の名前を書く」です。自分に与えられた名前に込められた思いを見つめ直すきっかけをくださり、「いのち」は自分だけのものではなく、何百年、何千年もの時を経て代々受け継がれてきたものであると話されるなど、書道を通して「かけがえのない、いのちの大切さ」を教えていただきました。



まず、半紙に名前を大きく書いてみる。次に配られたのは、なんと一人ひとりに書いてきてくださった名前のお手本。皆、自分の名前に向き合い、一生懸命練習し始めました。

保護者の皆様におかれましては、この一年間様々なご支援・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。